



「御影北・認知症予防と支え合いのまちづくり運動」推進委員会と協賛いただく皆様方との集い
テーマ

26年度・御影地域における活動のまとめと次年度の取り組みに向けて

3月8日（日）御影北地域福祉センターで30名の参加で開催されました。
当日は、山田達夫先生をはじめ、甲南病院・小倉純先生や地域の先生方、御影地域のそれぞれの推進委員の方、予防カフェのメンバーも参加です。

山田先生は「認知症予防のまちづくりを更に進めるために」～医療・介護・福祉と地域とのネットワークづくりの重要性～と題して講演。現在、御影地域で取り組んでいる予防活動は、神戸のような大都市の独居や老老世帯の孤立化も心配される地域で、どう認知症予防のまちづくりの輪を広げていくのかが重要な課題であると話されました。

次に認知症予防カフェ「木曜会」・「御影いきいきクラブ」の活動報告がありました。
続いて協力病院、甲南病院・小倉先生の、認知症疾患医療センターの立場からお話いただき、先生方からも医療の現場の難しさなど、歯科医の先生から高齢者や認知症の人の口腔ケアの必要性のお話がありました。

その後、地域の推進委員の方々から、支え合いのまちづくりに対する取り組みについては、担当する地域によって各々の状況が異なるが、新年度に向けた活発な議論を継続していきたいとの意見がのべられ、この活動を共に推し進めて行く事を確認しました。



御影中町の勉強会 探訪記事

今回は、3月21日御影中町の皆さんの勉強会の会場をお訪ねしました。

「認知症予防と支え合いのまちづくり」講座（全6回）第3回は 講師の認知症予防ネット神戸 伊藤理事長を囲んでの勉強会です。
彼岸の中日にもかかわらず大手会館に11名の参加者、そして東灘区社会福祉協議会の鎌田さんも補佐役として参加していただき講座は進みました。

「認知症予防のまちづくり」のプログラムで、「御影中町とはどんな街か」東灘区でのポジション、「御影中町の地域力」「地域にはどんな問題があるか」など講師の伊藤さんと参加者の皆さんがそれぞれの意見を出し合って、話しは進んで行きました。

中町の歴史をふまえながら現在の人口構成、問題の高齢化率などを見据え検討、ただ驚くことに御影中町では毎朝広場でのラジオ体操に100名の参加者があり、その他、わなげ会やグランドゴルフなど、週1回から月2、3回などさまざまな集まりが活発に行なわれています。そして何ととっても年1回の祭りのだんじりの担ぎ手として若者をはじめ子ども達が大勢集まります。

これら御影中町の集いの中で「認知症予防と支え合いのまちづくり」運動にどう取り組むかについて活発な意見交換が行なわれましたが、まだまだ今後も検討を続けながら進めていこうという勉強会でした。

取材 後藤 貞子

参加者の方に聞きました。

中野 勉さんのご意見（西御影若葉会 会長）

これまで山田先生の講演会や相談会、そして今回の勉強会で認知症のこわさがよく解りました。認知症にかからないための予防生活がいかに大切がを痛感、そのためには予防の3大テーマを重視し、予防生活を実行してもらうことを地域の皆さんにどう伝えて行くかが課題です。

